



各区の中で取引価格割合が大きい最寄駅は？

Data

¥Chap03¥3.23_trade_prices_tokyo(2020).csv

Technique

- ✓ 簡易的なLOD計算作成
- ✓ FIXEDの式

- ✓ 計算式
- ✓ 検索テキストによるフィルター

問題

さまざまな「割合」を可視化することは、インサイトの発見につながりやすい重要な視点です。2020年の東京都の不動産取引データから、23区に絞り、各区の中で取引価格割合の大きい最寄駅を把握したいと思います。各市区町村名で各最寄駅が占める取引価格（総額）の割合が、23区の中で最も大きい市区町村と最寄駅の組み合わせはどこですか？

代官山駅のように複数の区（目黒区と渋谷区）にまたがる駅については、「目黒区の代官山駅」「渋谷区の代官山駅」と分けて考えるのがポイントです。

解答

正解は、荒川区、町屋



- 1 まず、市区町村ごとの合計取引価格を算出します。メニューバーから [分析] > [計算フィールドの作成] をクリックします。
- 2 新しい計算フィールド「取引価格（総額）（市区町村名）」を作成し、図のように式を組み立てます。
- 3 [OK] をクリックして画面を閉じます。



- 4 市区町村かつ最寄駅ごとの合計取引価格を算出します。メニューバーから [分析] > [計算フィールドの作成] をクリックします。
- 5 新しい計算フィールド「取引価格（総額）（市区町村名、最寄り駅）」を作成し、図のように式を組み立てます。この計算式では、例えば「最寄り駅が『渋谷区の代官山駅』の不動産の合計取引価格」が計算されます。
- 6 [OK] をクリックして画面を閉じます。

区全体に対する価格割合

$$\frac{\text{SUM}([\text{取引価格(総額)}(\text{市区町村名、最寄駅}))}{\text{SUM}([\text{取引価格(総額)}(\text{市区町村名}))}$$

//分子は、市区町村かつ最寄駅ごとの合計取引価格
//分母は、市区町村ごとの合計取引価格

計算は有効です。

適用 OK

7 次に、「渋谷区の不動産の合計取引価格に対する、最寄駅が『渋谷区の代官山駅』である不動産の合計取引価格の割合」といった内容を算出する式を作成します。メニューバーから[分析] > [計算フィールドの作成] をクリックします。

8 新しい計算フィールド「区全体に対する価格割合」を作成し、図のように式を組み立てます。

9 [OK] をクリックして画面を閉じます。

10 [データ] ペインから「市区町村名」を[フィルター] シェルフにドロップします。

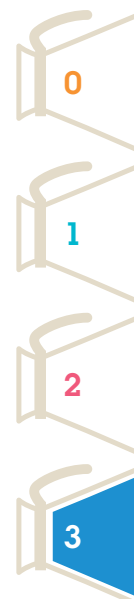
11 上部のテキストボックスに「区」と入力して[Enter] キーを押し、[すべて] をクリックします。

12 [OK] をクリックして画面を閉じます。

13 [データ] ペインで「市区町村」と「最寄駅：名称」を選択し、選択したまま右クリック > [作成] > [結合済みフィールド] をクリックします。

14 ビューを作成します。[データ] ペインから「区全体に対する価格割合」を[列] に、「市区町村名と最寄駅：名称(結合)」を[行] にドロップします。

15 降順で並べ替えるボタンをクリックします。



求める値の算出

